

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	がんばる商店街支援事業			事業番号	015-011
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	地域産業

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出
			有	取組の方向性			②中小企業による新事業の創出
		寄与するKPI	有・無	指標名			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.3
			有	取組			中小企業の資金調達の円滑化
		寄与するKPI	有・無	指標名			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市産業振興アクションプラン		
3	事業開始年度	平成 13 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地域商店街活性化法等		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内商店街（約73か所）・小売市場（2か所）及び地域住民	対象数	単位
			—	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域のニーズや新たな需要等に対応しようとする取組等を後押しし、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展を促進する。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>◎市内商店街・小売市場等が主体的に実施する、「新しい生活様式」に対応しながら、地域住民やコミュニティのニーズに応える取組の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆商店街等ソフト事業支援事業 (地域の住民やコミュニティのニーズに応えるために取り組む自主的なソフト事業を支援) ◆地域の持続的発展のための商店街支援事業 (新たな需要の創出につながる魅力的な機能の導入等を行う事業を支援) ◆商店街等空き店舗等活用支援事業 (商店街等が主体的に実施する空き店舗を活用した取組を支援) 		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	市内商店街等		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 商店街等ソフト事業支援事業を活用する事業主体の目標達成率	%	目標値	80	80	80		80
		実績値	67	89			
		達成率	84%	111%			
		当該指標を選定した理由	商店街に対するイメージや通行量を目標の指標としており、これらの目標達成率は地域住民等の商店街に対する満足度を示すものであるため。				
目標値の設定根拠・算出方法	事業主体が設定した目標値（通行量・アンケート調査結果等）を達成した団体の割合						
12 商店街等ソフト事業支援事業件数	件	目標値	5	5	5		
		実績値	3	9			
		達成率	60%	180%			
		当該指標を選定した理由	商店街等において、地域住民やコミュニティのニーズに応えるソフト事業の実施を支援することにより、商店街の活性化に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法	商店街、小売市場等が取り組むソフト事業に対し補助を行った件数						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	がんばる商店街支援事業	事業番号	015-011
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	50,239	46,568	72,180	42,156	68,110
財源内訳	国支出金	14,286	20,000	14,007	24,000
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	50,239	32,282	52,180	28,149	44,110
14	18,144	13,776	10,250	11,808	8,446
15	68,383	60,344	82,430	53,964	76,556

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	R4				R3	R4		
16	普通旅費 (事例視察及び管内出張)	決算		26	26	商店街等空き店舗活用支援事業補助金	決算		0	0
		予算		70	70		予算		4,000	4,000
	通信運搬費	決算		12	12	決算				
		予算		40	40	予算				
	商店街活性化推進委員会負担金	決算		17,000	17,000	決算				
		予算		17,000	17,000	予算				
	商店街等ソフト事業支援事業補助金	決算		4,106	4,106	決算				
		予算		12,000	12,000	予算				
	地域の持続的発展のための商店街支援事業補助金	決算		21,012	7,005	決算				
		予算		35,000	11,000	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
	① 商店街等ソフト事業支援事業件数	件	3
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,520	7,222
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,173,333	802,444

備考 (算出についての説明等) ②年間経費は、商店街等ソフト事業支援事業補助に係る人件費と当該補助金支出額の合計

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 商店街等は、「新しい生活様式」に対応しながら、地域に密着したイベント事業など（テイクアウトイベント・商店街マップ作成・販促事業・集客イベント等）、地域の状況に応じた種々の取組を実施している。また、堺東エリアの商店街内においては、地域ニーズを踏まえ新たにオフィス機能を導入し、最適なテナントミックスを目指す取組を実施している。これらの取組を支援することで、商店街の活性化を図った。
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商店街等ソフト事業支援事業件数が伸びず、単位当たり経費が高かったのに対し、令和3年度は当該事業件数が増えたため単位当たり経費が減少した。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 地域のニーズを踏まえたうえで、消費喚起につながる魅力的な機能の導入等を行い、最適なテナントミックスの実現に向けた仕組みづくりに取り組む事業を支援することで、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展の促進に寄与した。